

【鉄研コラム1】この部誌で登場する主な車両について

ここでは、この部誌に登場する主な車両を系式別に簡単に紹介します。本文中では車両の概要には触れていない場合もありますので、こちらをご参照ください。

・ C61 20

伊勢崎市の公園で静態保存されていたものを 2011 年 6 月に JR 東日本が復元しました。高崎地区で臨時列車として活躍しています。



・ D51 498

1988 年、来日するオリエント急行を牽引するために復元された、動態保存唯一のデゴイチです。高崎地区で臨時列車として活躍しています。



・ 185 系

特急から普通まで使える便利な車両を目指して開発された車両です。「踊り子」「草津」「あかぎ」などで見ることができます。



・ 113/115 系

国鉄近郊型車両のスタンダードとして、各地で活躍していた車両です。数を減らし続けており、千葉地区からは 2011 年 8 月に撤退しました。



・ 203 系

常磐緩行・千代田線で活躍してきた通勤型車両です。2011 年 10 月頃の引退を予定しています。



・ 205 系

首都圏の通勤路線で多く活躍している車両です。京葉線には「メルヘン顔」とよばれる変わった前面を持つ編成がいました。



・ 209 系

寿命半分、コスト半分以上を謳い登場した通勤型車両です。現在は房総地区各線のほか総武線等で活躍しています。



・ E233 系

中央、常磐緩行、京葉、東海道線など首都圏を走っていた国鉄型車両を置き換えるために投入されている新型車両です。



・ 201 系

「省エネ電車」として登場した通勤型車両です。中央線からは昨年、京葉線からは今年に引退しました。



・ 300 系

初代「のぞみ」として親しまれている新幹線車両です。N700 系増備により廃車が進み、残っている編成数もかなり少なくなってきました。

